全東京写真連盟

撮影会写真コンクール

入賞作品集

審査対象 全東京写真連盟水着モデル撮影会

撮影日 2021年06月27日

審査日 2021年08月07日

審査員:HARUKI先生

金賞
「グリーン・グリーン」
北条　善久 様
モデル　根本美里

審査員:HARUKI先生 講評

細身のプロポーションながら秘めたる色香を感じさせてくれます。「水着撮影会」では「水着」だけじゃなくて水着を着用しているモデル撮影会という印象ですが、この作品もまさにモデルさんご自身が持っている見る側（カメラマンたち）を圧倒するような小悪魔的な魅力を最大限に引き出している１枚じゃないでしょうか。他のカメラマンたちからも同じようなアングルでの投稿も多くありましたが群を抜いてのタイミングを捉えていました。しかも彼女の視線は作者のカメラの方を見ていなくて１ｍくらい横にそれたあたりに目を合わせているように見えます。ここまで寄った場合にはたいていは目線が合っているのですが、作者は目を合わせると石にされてしまうという伝説のメデューサから逃れるようにおそらく視線を外して撮影に挑まれたのだと思います（笑）

銀賞
「想い」
中牟田　剛 様
モデル　杉浦檸檬

審査員:HARUKI先生 講評

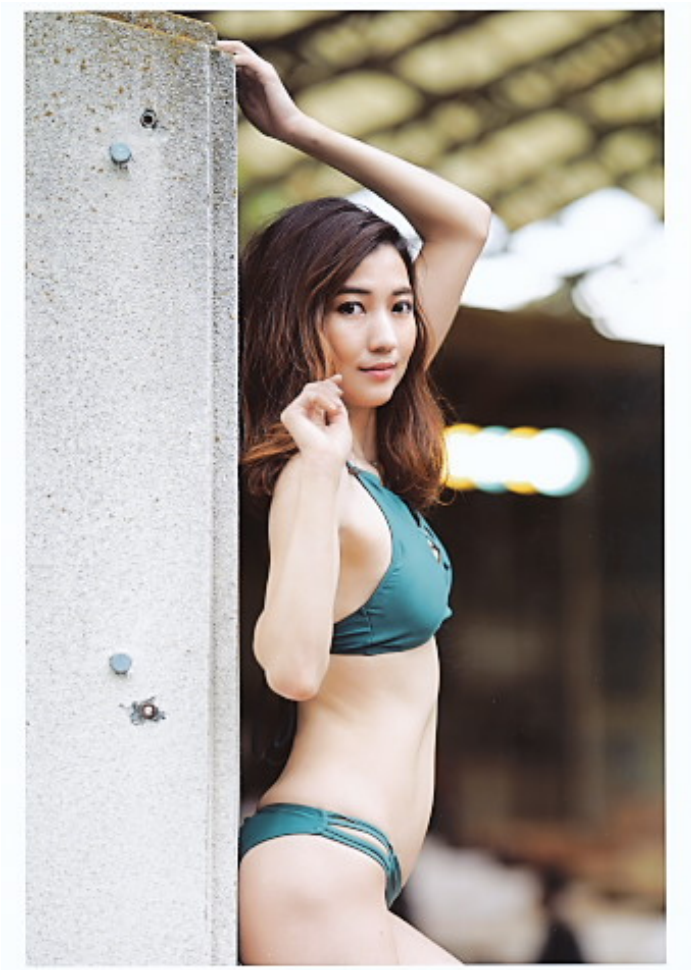
うってかわってコチラは肉感的な魅力ボディーのモデルさんですが、石の壁に甘えるようなポーズでたれかかって濡れた黒い瞳で見つめることで、彼女にはボディだけじゃない部分で魅せる武器の強さを感じてしまいます。
フォーカスがモデルさんと石柱に合わせ、背景をボカしながらも光るワンポイントを配置したことで奥行きが感じられます。下半身を敢えて切ってしまったことで表情や上半身の仕草へと見る側の目線を集中させることが出来ました。

銅賞
「水着マーメイド」
高橋　敏之 様
モデル　植山ゆき

審査員:HARUKI先生 講評

はにかんだ笑顔とあどけない少女のようなポーズが魅力的な、「カワイイ！！」の一語に尽きる屈託のないマーメイドの登場です。敢えて惜しい部分を指摘するならば若干の斜め加減が気になります。後ろの黒い柵のような形状が直線的でかっちりしたものが画面を大きく占めている場合には垂直は合わせた方が良いです。撮影時に多少斜めになったとしてもプリント時に調整してみましょう。思い切って斜めにするという手もありますが（笑）。
モデルさん、カメラマン、皆さんの組合せで様々な魅力的な力作が寄せられて、金、銀、銅と違った３タイプの楽しい水着作品となりました。

入選
「クール」
石川　玲 様
モデル　杉浦檸檬



入選
「視線を感じて」
小幡　大輔 様
モデル　根本美里

入選
「曲線美の誘惑」
猿田　善和 様
モデル　杉浦檸檬

入選
「Love sincerely」
門間　正之 様
モデル　根本美里

入選
「陽の当る時」
山田　栄一 様
モデル　杉浦檸檬

佳作
「ポートレート」
荒井　秀雄 様
モデル　根本美里

佳作
「好奇心」
生田　文夫 様
モデル　植山ゆき

佳作
「ステージ」
漆畑　丈史 様
モデル　根本美里

佳作
「しずかなユウワク」
堤　博史 様
モデル　夏山 りか

佳作
「魅惑のライン」
寺島　弘行 様
モデル　夏山 りか

佳作
「眩き微笑み」
中山　昌幸 様
モデル　星ルミカ

佳作
「見上げた先には・・」
松岡　達雄 様
モデル　根本美里

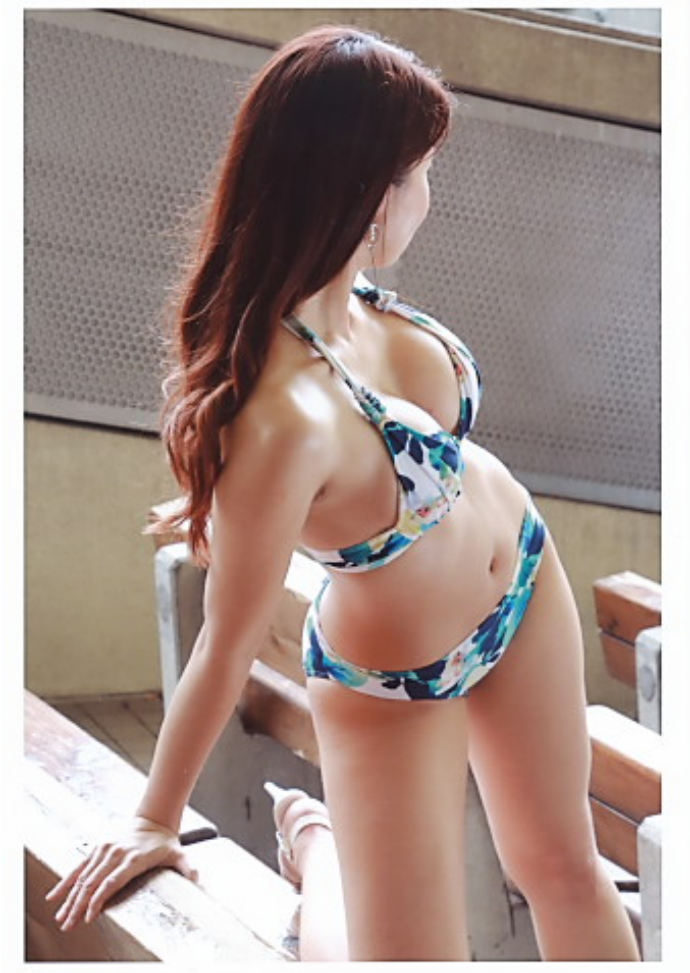
佳作
「笑顔」
深野　武雄 様
モデル　植山ゆき

佳作
「階」
湯原　章綱 様
モデル　根本美里

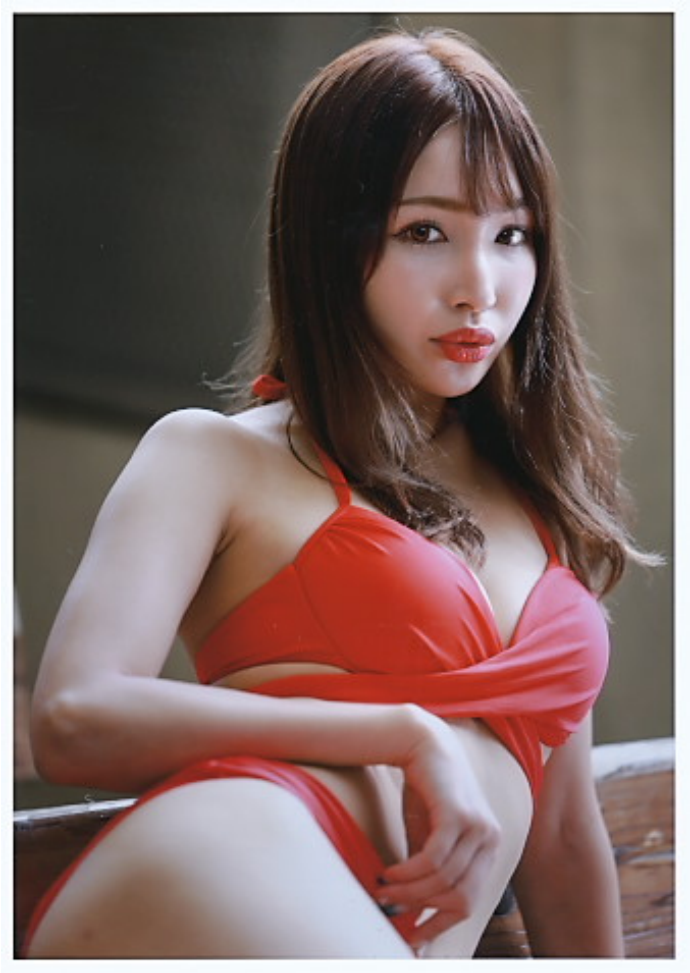
佳作
「秘めた想い」
横塚　英夫 様
モデル　杉浦檸檬

次点
「振り向く君は美しい」
池田　道政 様
モデル　星ルミカ

次点
「連鎖のディスタンス」
小倉　良二 様
モデル　夏山 りか



次点
「うしろ髪」
河村　徳助 様
モデル　植山ゆき



次点
「誘惑！！」
鵜飼　典彦 様
モデル　星ルミカ

次点
「補色で勝負だ」
斎藤　貴生 様
モデル　yuki

次点
「夏の到来」
田中　直久 様
モデル　yuki

次点
「プロフィール」
内藤　勝之 様
モデル　星ルミカ

次点
「想い」
成田　誠宏 様
モデル　植山ゆき

次点
「このスタイルは事件だ」
三井　直人 様
モデル　根本美里

次点
「挑発の眼差し」
守屋　久 様
モデル　横瀬まゆ

この２～３年の作品を拝見していると嬉しい事に技術的にはレベルが上がっていると思います。だけどおとなしいイメージも拭えません。

雨よりも晴れている方が良いのは当然ですよね。雨だと着ているものやカメラ機材だって濡れるのが心配だと撮影もままならないことだってあります。モデルさんだって髪の毛が濡れてしまうと困りますし、肌寒かったりするとポーズだって固くなってしまいます。

撮影日の天候だけは誰のせいでもなくどうしようもない不可抗力です。

だけどものは考えようです。いつも穏やかな晴天の写真ばかりもつまらないもので、もしも雨が降ったなら雨なりの光線の美しさを見つける楽しさや、風が強ければその風があってこそ撮れる写真もあると思います。

天候だけの話しじゃ無くて、少しだけいつもと違った視点からアプローチしてみるのも面白いのではないでしょうか☆

2021年8月　HARUKI